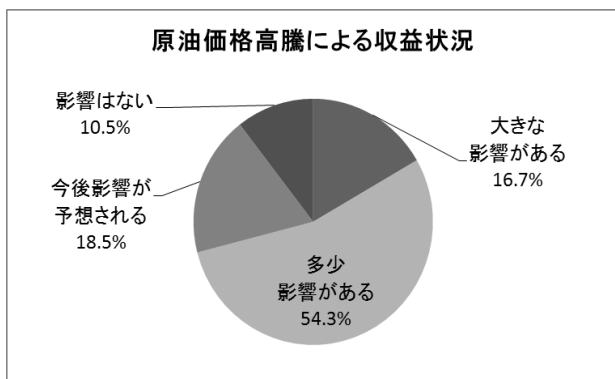


## ■原油価格高騰による影響 — 付帯調査

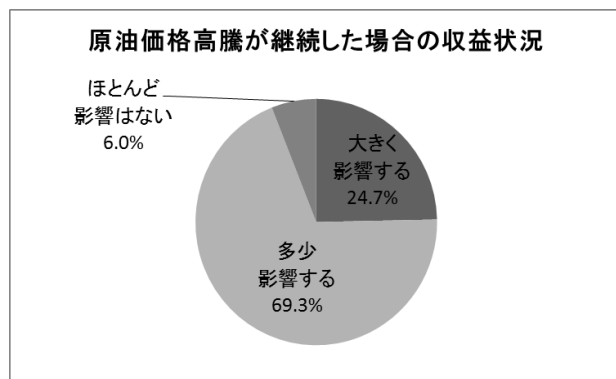
### 約7割の企業に影響あり！ 今後の収益圧迫に懸念大！

- 原油価格高騰によるガソリン等の石油価格関連価格上昇が、企業収益に与える影響については、「大きな影響がある」が18.2%、「多少影響がある」が54.3%、「今後影響が予想される」16.7%で、「影響はない」は10.5%であった。
- 原油価格高騰の影響が最も高いのは「製造業」で73.5%、次いで「サービス業」61.0%。以下「建設業」23.1%、「小売・卸売業」14.3%と続いた。
- 原油価格高騰がこのまま続いた場合、企業収益に今後どの程度影響を及ぼすかについては、「大きく影響する」が24.7%、「多少影響する」が69.3%、「ほとんど影響はない」は僅か6.0%であった。
- 原油価格高騰によるガソリン等の石油価格関連価格上昇が、「大きな影響がある」、「多少影響がある」または「今後影響が予想される」と回答された企業に、どう影響があるか若しくは影響が予想されるかについては、「燃料(光熱)費の上昇」45.2%、「原材料・仕入価格の上昇」38.1%、「輸送(交通)費の上昇」24.4%、「その他経費の増加」13.1%、「売上・受注の減少」10.1%であった。
- 業種を問わず原油価格高騰によるガソリン等の石油価格関連価格上昇が企業経営に大きく影響を及ぼしているという結果となっている。
- 価格転嫁について、「ほとんど転嫁できていない」と思われることから原油価格の高騰が続いた場合は、企業経営への影響は深刻さを増すことが予想される。また、10月からは「地球温暖化対策税(環境税)」の負担も重なり、価格転嫁できない場合は、さらに企業収益が圧迫される懸念は大きいと思われる。

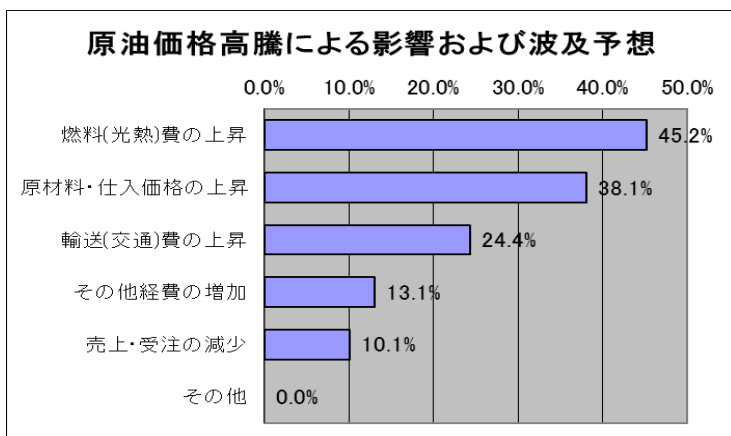
#### (1) 自社収益に与える影響



#### (2) 高騰が続いた場合の自社収益に及ぼす影響



#### (3) どう影響があるか若しくは影響が予想されるか (複数回答)



※グラフは全業種のデータ